

「愛媛10号」と「愛媛16号」について

本県の気候風土に適した優良なカンキツ新品種の育成を目的として、交雑育種を続けているが、これまでに一次選抜した系統の中から、愛媛10号と愛媛16号を、今春種苗法に基づき品種登録申請した。

愛媛10号はハッサクを種子親に用い、川野夏ダイダイの花粉を交配して育成したブンタンである。

果実は、形がやや不揃いで果皮が粗く厚いが、既存の品種に比べて早熟で、肉質が優れており味が良いのが特徴である。

木は樹勢が強く直立しやすいため、当初は結実しにくいのが、枝が開くように誘引整枝を行い、落ち着いてくると毎年良く結実するようになる。

愛媛16号は青島温州を種子親に用い、タン

カンの花粉を交配して育成したマンダリン(ミカン)である。

果実は果面が滑らかで紅が濃く、浮皮になりにくい。皮は剥きやすく、芳香があり糖度が高いのが特徴である。袋はやや厚く、周囲に中晩柑類などがあると受粉して種子が入りやすい。

木は樹勢が強く直立性である。開花するまでは徒長枝の発生が多いが、トゲの発生はほとんどない。

いずれの品種も各産地における栽培適応性については、さらにデータの蓄積が必要であるため、本場、南予分場、岩城分場における適応性試験に加えて、平成9年から青果団体などに試作用の穂木を配布して、現地試験を開始している。(育種班 主任研究員 喜多景治)

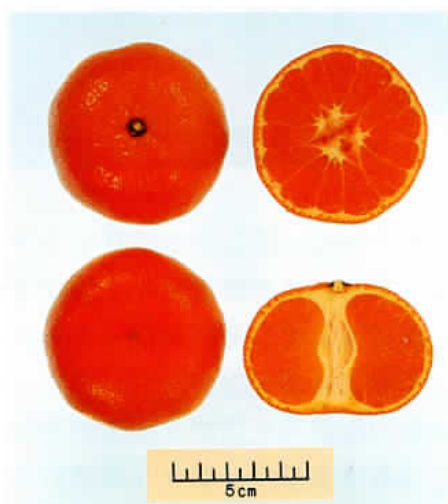
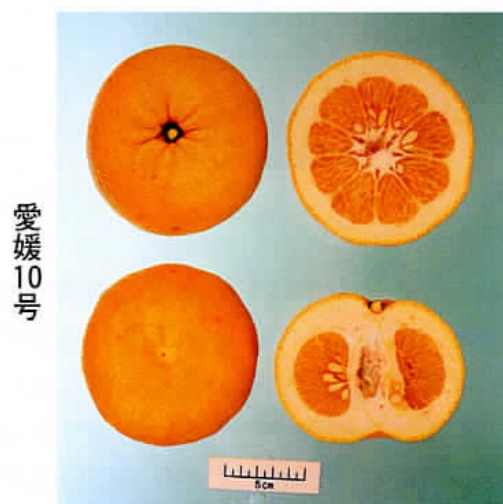


表1. 愛媛10号、16号の果実品質

愛媛果試本場 系統名	分析年月日	一果重 (g)	果形指数	果肉歩合 (%)	糖度計示度	クエン酸含量 (g/100ml)	甘味比
愛媛10号	7.12.28	453	123	49.3	11.3	0.86	15.0
	8.12.26	619	121	49.0	12.3	0.90	13.7
	9.12.9	461	111	50.0	11.0	0.87	13.6
	11.1.20	641	120	49.9	11.2	0.95	13.3
愛媛16号	8.1.18	92	140	74.4	12.9	1.25	11.4
	8.12.26	145	140	76.0	13.8	1.10	12.5
	9.12.9	148	156	72.4	12.7	1.05	13.2
	11.1.20	155	139	76.4	14.1	1.01	14.8